部活動を通して

子どもたちの の成長を願う



保護者・教員を対象にアンケー 域移行**・の取組状況は。 答 令和6年2月に児童生徒

当市における部活動の地

ため、 者・保護者などで構成される協 階的な進行が必要と考えていま 負担や送迎への懸念も多く、段 参加に肯定的でしたが、 過半数が休日の地域クラブ活動 くは地域移行に賛成、 議会を設置します。 トを実施したところ、教員の多 今後、様々な声を集約する スポーツ団体・学校関係 保護者も 金銭的

> 保、 を行い、最適な実施体制を模索 を把握しながら、 していきます。 運営費用、送迎の課題など 市が総合調整

> > 物PFASは、 も取り上げた、

市民の不安や関 有機フッ素化合

が明確になることが重要と考え と丁寧な説明が求められる。 不可欠であり、信頼関係の構築 との連携が強化され、 準備を進めるべき。関係機関等 |議員|| 改革推進期間内で着実に 保護者の理解・協力も必要 役割分担

えるが、市の考えは。

易水道の取水井掘削工事を機会

度に予定されている小国地区簡 心がある問題である。令和7年

に、ぜひ検査を実施すべきと考

動を整理し、指導者や団体の確

結果や関係団体の意見を踏まえ

学校単位で移行可能な部活

答協議会の中で、

アンケー

に関わるのか。

市はどのように地域移行

-般質問の内容は会議録で読むことができます。

S及びPFOAの水質検査につ の関心がさらに高まったと認識 答弁しました。 義務化されてから実施する」と 出される事例が報告され、 えるPFOS及びPFOAが検 県内で暫定指針値の約10倍を超 沓 令和7年第1回定例会では 4平地区の小規模水道のPFO 曷川地区の簡易水道、 しています。このため、 水道法の基準値として法的に しかしその後 平六・ 小国 市民

PFASの水質検査

F

A S 検査

地域の安心

くい 実施する予定です。 6月中に採水及び検査を

令和7年第1回定例会で

だきたい。 果を住民の皆さんに教えていた 向に方針転換されたことに安心 した。ぜひ検査をして、 今回、検査を実施する方 その結



大木平第2水源の取水施設

般質問

極めて重要 発症前の一次予防が

局齢者RSウイルスワクチジ なかはた ひ ふ み 中畑一二美

組や今後の計画を考えているの 染症に対し、市はどのような取 高齢者のRSウイルス感

者向けの個別の取組は予定して として流行状況を把握できませ の調査対象外となっており、市 成人の感染・発症については国 要です。ただし、同ウイルスの るリスクがあり、特に注意が必 礎疾患のある高齢者が重症化す 答 RSウイルス感染症は、 そのため、現時点では高齢 基

いる。接種費用が高額だが、 令和6年1月から接種可能とな 高い予防効果が報告されて 市

いません。 議員 RSウイルスワクチンは

の助成の考えは 厚生労働省の専門部会でも

> です。 が検討までは至っていない状況 の方針や他自治体の動向を注視 を行う判断は難しく、今後の国 定期接種化が議題に挙げられた していきます。 市としても現段階で助成

予防が大切。医療費の削減にも つながる。前向きに検討願う。 健康な時期から始める一次 健康寿命を延ばすために

は



を行ってきました。

議会中継はこちらから

リの導入等を支援する補助など 市では施設のホー

観光振興

外貨獲得の 仕掛けづくりは

考えは。 より地域にお金を落とせるよう な仕組みづくりについて、市の 観光施設を訪れる人が

と連携し、缶バッジの商品化や 題と認識しています。観光協会 限られており、改善が必要な課 では土産品の種類や販売場所が 考えています。猿賀公園エリア 地域経済の発展に重要な要素と キーホルダーの製作など、 な展開を検討しています。 答 外貨の獲得は、観光振興や 新た

取組は。 やサインの多言語化、 設をより利用してもらうための 外国人観光客に、観光施 翻訳アプ ムページ



ドブック『rakra×平川』の配 法は。 公園エリアの多言語パンフレッ 置や、観光協会では新たに猿賀 トの作成を予定しています。 答 外国語で作成した観光ガイ



外国語で作成した「rakra×平川」

議長公務 農林水産省と経済産業省へ要望!



外国人観光客へのPR方

総合的な予防対策を

児童生徒のネット依存

か さいはや と **葛西勇人** 議員

う。 る実態把握と対応策について伺 まえ、当市の小・中学生におけ 童生徒が増加している現状を踏

整備、

先進的アプリや認知行動

関わるようになり、

特に鳥獣害

少子高齢化が市政全般に 急速に進行している人口

対策にも大きく影響してきてい

耕作放棄地や放置林が野牛

や段階的支援のフローチャート

全国的にネット依存の児

める。

また、低年齢層への予防

取り組んでいます。 や道徳の授業を通じた啓発にも 傾向を把握しています。 ンケートを行い、長時間利用の 情報端末の利用時間に関するア は実施していませんが、 モラル教室を実施し、 としては、全校で年1回の情報 ネット依存に特化した調査 学級活動 対応策 毎年

عز

総合的な対策を構築すべ

シシなど鳥獣の出没状況 である。そこで、①クマ、

② 住 イ

宅地にクマが出没した際の対応

と提案する。

手順

③里山における緩衝帯

(バリア・

響を与える依存症であり、

市全

動物のすみかとなっている現状

と考える。ネット依存は脳に影 療法の活用も検討すべきである

体で予防から回復支援までを含

「会和方式変情報検索アンケート結果 (学に内容変換集会) 1 情報端末を1日3時間以上利用していると答えた初合 54 6年 1# 2 #

私自身、市民からの相談

令和6年度情報端末アンケート結果



ことば

の客観的ツールの導入を強く求

対応のためにチェックリスト等

答弁された対応策に加え、

早期

進行している懸念を感じている。

を受け、

当市でもネット依存が

-般質問の内容は会議録で読むことができます。

を確認し、 ②通報があれば、速やかに現場 住宅地内に出没した場合は、 在までに、クマ7件、ニホンジ カ1件の出没を確認しています 市鳥獣被害防止計画にのっと |①令和7年4月から6月現 県や警察署と情報共有して 対応を検討します。

ゾーン) *2について 本気度が伝わらない。

7月1日市内に出没した熊

す。 帯や電気柵の設置は有効な対 ③集落と山林の間に設ける緩 関係課が連携して対応します。 必要な対策を講じていきます。 の意識啓発や情報発信を通じて ですが、行政と地域住民が一体 となって取り組む必要がありま に迫っている。回答からは市 市の計画に基づき、 クマは私たちのすぐそこ 市民

令和7年度の鳥獣被 先手必勝の心構えを 市民の命を守るために 保保 議員

里山における緩衝帯(バリア・ゾーン)とは

般質問

う対応するか

りしていた場合、教員としてど

教える力× つながる力

学校教育指導の方針と重点 ゃま ゃ ひろあき **山谷洋朗**

学習支援やTT***の活用状況 学力向上のための施策

どを通して確かな学力を身に付 支援員は小・中学校13校に19名 ける取組を行っています。学習 配置し、TT教員は中学校3校 員の活用、ICT機器の導入な 答 指導計画の整備、学習支援 に各1~2名配置しています。 TT制度の課題は。

確認し、指導助言を続けます。 ています。学校訪問時に状況を で配置を工夫するなどで対応し す。教科担任との打合せや各校 科の教員ではないことが課題で 答 TT教員が必ずしも専門教 授業中、児童生徒が居眠

> 聞き取ります。「分からない 促し、授業後に居眠りの原因を う先生方へ伝えていきます。 たくなる授業づくりを目指すよ 考えられるため、生徒が参加し 答 まずは起こして授業参加を 「つまらない」といった要因も

議会中継はこちらから 画的に撤去等を行い、引き続き 適正な管理に努めます。 施してきました。全ての支障木 の撤去ができないことから、計

トラブルの原因となる隣

いし た あきひろ **石田昭弘**

公有地の樹木植栽の管理

落ち葉対策も万全に

と対応状況は。 |議員||公有地の樹木植栽の管理

ます。シンボルタワーの植栽に あるため、伐採および剪定をし 撤去を行います。ロマンロード の境界付近の水路脇にある樹木 答猿賀公園北側、 手の届く範囲で伐採・撤去を実 新館公営墓地については、 定に向け、準備を進めています。 ついては、樹木の伐採および剪 落ち葉などにより隣地に影響が トイレ北西側の樹木については については、伐採および土砂の 作業用の重機が入れないため、 おのえ荘と 高所

切である。

教師と児童生徒の信頼関係が大 充実という目標達成のためには

議員 授業の充実、生徒指導の

知できないか。 取り」の内容とQ&Aを広報ひ 33条「竹木の切除及び根の切 地に越境した樹木・生け垣の対 らかわに特別ページを設けて周 応について、改正された民法2

ます。 書へ啓発用チラシを同封し、 知のほか、固定資産税納税通知 知に努めています。これまでの 丁寧な情報提供にも努めていき 方法を継続しつつ、広報紙等で 答 市のホームページによる周



猿賀公園の越境した枝

